

神の 人化 (2/5) : 神々、人格神、そして神による 造物への化身

:

明:多神教の 信仰、特にヒンズ 教における神の概念の傍 。

目:[事イスラ ムの信条神について](#)

より: ビラ ル フィリップス博士

EB1 Jan 2011

集日 31 Jan 2011

神々



とはいえ、神への信仰といった概念の 面に、人 のあらゆる 理と理性を しつつも、その信仰の根本理念とされるものが存在していることも事 です。それは神が人 の形をとる というものです。つまり、元来の神に する一神教的信仰が、人 による探求を する役割、もしくは 世における神の代理としての役割として人 と神の に仲介者を仕立て上げ、彼らが崇 の 象になるといった を せているのです。仲介者とは、たびたび自然界の 々な象の精 といった形をとります。 って太古の人 は、森林、河川、大空、土 などといった 精 を崇 していましたが、それは今なお いています。自然そのものもたびたび崇 の 象とされ、 には自然を象 するシンボルが崇 されました。こうした の 信仰から 展した宗教システムは、世界の未 地域において と地方化をし、 在もあちこちに散在しています。し

かしこのような信念は人 史上、国 的な影 力を持つ一つの信念システムとして成立することは、知られている限りありませんでした。

他方では、一神教的信仰が肖像として象 され、神の属性が仲介者という人格化を せて退行し、それによる偶像が崇 の焦点とされました。神の属性が神々となったのです。そのような信仰が古代、そして 代において国 的に影 力を持つ自然宗教として猛威を振るいました。古代エジプト、ギリシャ、そしてロ マの 宗教はキリスト教によるそれらの 帝国の完全なる破 によって死 しました。しかしインドのヒンズ 教はムスリムとキリスト教徒による支配から生き延び、今日も 10 人のインド人たちの国家宗教として存 しています。インドネシアのバリ を除き、キリスト教とイスラ ムは の大半において国 的な影 力をもたらしました。しかし 教の なる宗派とその分派は、 における何千万人もの人々の主な宗教となりました。こうしたヒンズ 教による 々な改革 は、西 社会において今日も まりを せています。

人 は神である

ヒンズ 教の基本的な概念として、あらゆるものが神とされています。根本的に、神とその 造物の区 はないのです。ヒンズ 教の哲学によれば、すべての生き物にはア トマンと呼ばれる自我、もしくは魂が わっており、一般的に魂は 上、ブラフマンと呼ばれる神であると信じられています。ヒンズ 教の信仰における真 とは、ア トマンとブラフマンが同一であるという 念、つまり人 の魂には神格があることです。さらに、人 社会はカ ストと呼ばれる身分制度によって分割されており、そこではそれぞれのカ ストが、ブラフマンという神のどの部分から存在として 在化したかが象 されています。上 であるブラフミンは、神の 部から来たとされ、シュ ドラと呼ばれる下 は神の足から来たとされています。公式には四つのカ ストのみなのですが、 には多くの副カ ストが存在します。四つの主要なカ ストはそれぞれが何千ものより小さなカ ストに 分化されています。ヒンズ 教徒たちは、人 が死ぬと 生をすると信じます。死人の魂であるア トマンは不 であり、生まれ わります。 世で善い行いをした人物は来世においてより高いカ ストを持つことが出来ます。 照的に、 世で い行いをした人物は、より低い に生まれ わるとされ、ヒンズ 教が年 に多くの自 者を出す主な理由の一つでもあるのです。新 各 は 日、

家庭の天井の扇から首をつって自 する人や家族のニュースを定期的に しています。最近ではある地方に、インド代表がクリケットの合でスリランカに けたため、ヒンズ教徒が自 したというニュースがありました。人が 生という念を信奉すると、人生の困 における安易な回避の方法として自 が用いられてしまうのです。

人が を 返し、上 であるブラフミンに到 すると、 生のサイクルは 了し、彼はブラフマンと再 合します。 におけるこの 程はモクシャ、 教ではニルヴァナ (涅槃) と呼ばれます。アトマンがブラフマンと 合し、人は神となるのです。

神による 造物への化身

ヒンズ 教の教 によれば、ブラフマンの性 は他の神々と同じく するとされています。 造の属性は 造神であるブラフマ に 属され、 持の属性は 持神であるヴィシュヌ、そして破の属性は破 神シヴァに 属されます。それらのうち最も人 のあるヴィシュヌは なる 代によって 々な人 として 化するとされます。こういった 生はサンスクリット で降 を意味するアヴァタ ラと呼ばれます。それは、人 または 世における他の 造物として神が化身し、 世に降 することを表しています。アヴァタ ラという用 は主にヴィシュヌ神による10の化身を指し示します。それらには の化身マツヤ、 の化身ク ルマ、猪の化身ヴァラ ハ、半人半 子の化身ナラシンハ、矮人の化身ヴァ マナ、そして一般的に最も良く知られている、人 の化身ラ マが含まれます。ラ マはラ マ ヤナという叙事 の英雄であり、インドでは何本も映画化 放映されています。他の人 のある神はヴィシュヌによる の人 の化身、クリシュナです。彼に する叙事 はマハ バ ラタと呼ばれ、そこでは 魔たちに抑 され、人口爆 と分 の危 にある大地の女神が人 に 身した神々によって救われる 子が描かれています。 [2](#)

この信仰には が何回起きるのか、またどういった 物の姿をとるのかなどの 々な がありますが、一般的にそれらすべては上 の形に います。したがってヒンズ 教では、人 の5分の1が神、もしくは神の一部とされています。 造主とその 造物との相 は、 に外面上のものでしかないのです。

主流な 教は、ヒンズ 教と 生の概念を共有しますが、それに独自の修正を施しています。それによれば、意を持つあらゆる生命体は「性」を持ち、もがになれる可能性がある、というものです。ブッダは初期の教え³

において、真の人的教 でした。しかし大 教においては 的真理を伴う「永 なる」ブッダという概念が 立され、神の地位にまで押し上げられてしまいました。この永 なるブッダは彼のメッセ ジを人 に 示するため、初期のブッダとして 空を超えて色々な 代に れ、人 と共に き、生活するといわれています。って 教の 始者ゴ タマ シッダルタは初期の姿の一つであり、永 なるブッダにより られた幻影であるといわれます⁴

教は神々と 天の要素をインドから み み、救世主の神々への 依であるバクティ ヒンズ 教に 抗しました。至上性、または 性は一部の人々によって、精神世界に存在する永 なるブッダや菩⁵

同 の 在の要素を持つとみなされ、悟りに して彼らの 、守 、そして助けがそれらに献身的な追 者 によって求められました。

永 なる菩 のなかでも主格 のものは、慈悲心的人格化である 音、そして英知的人格化である文殊菩 とされます。永 なるブッダの中には阿 如来（不 の者）、阿弥陀如来（ 限の光と命を持つ者）があります。

Footnotes:

1

これはサンスクリット で「吹き消すこと」を意味する であり、 の根 や救 を意味します。この用 はヴェ ダ 物に（バガヴァッド ギ タ）ですが、 教と 付けられることが殆どです。小 教において、この用 は 息を意味しますが 福の状 であるとされます。(Dictionary of Philosophy and Religion, p. 393)

2

叙事 の神学的最重要部はバガヴァッド ギ タ です。(Dictionary of World Religions, p. 448)

3

古参の教理とされる上座部 教は、本 的には自らの救 のために 人が 践する 理 です。 を要する宗教的人生を生きる、体力と意志の い僧 だけがそのゴ ルにたどり着くことができ、それを 成した者は阿 と呼ばれます。ニルヴァ ナリ、一方には残余があり、もう一方にはそれがありません。前者は阿 によって 成され、五つの集まり（五：つまり 感受、表象、意志、 を含有するもの）は の 行の原因である欲求が依然として存在します。残余のないニルヴァ ナ ッダが沈 する、阿 の死 の状 のことを示します。一つのイオンには一人のブッダしかおらず、悟りは少数の精 のた されています。 教におけるこういった 面は上座部 教、または小 教と呼ばれます。

ブッダの死 、上座部 教の 践者らは しい戒律遵守の姿 を批判されました。意 の相 が始まり、 教は 化しました。そ 形 であり「大なり物」を意味する大 教が支配的となりま

Dictionary of World Religions, pp. 126-127)

4

Dictionary of World Religions, p. 129.

5

元来、この用 はまだ悟りの探求をしていた の 去のブッダを示しました。大 教において、菩 は他の悟りを求めるす への扶助のため、最 的かつ完全な悟りとニルヴァ ナを放 します

Dictionary of World Religions, p. 112)

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/index.php/jp/articles/573>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。